

# 仮面ライダーエグゼイド『クロノス』攻略RTA

常盤坂

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

平成仮面ライダーシリーズ完結記念に発売されたお祭りゲームのRTA、はーじまるよー♪

先駆者兄貴姉貴がいないので実質最速です。

初投稿なのでガバガバなのは許して…許して…

# 目次

part 1	キャラクターイト	1
part 2	PlayerとLiar	12
part 3	白と黄のXmas	26
part 4	EventとBugste	36
part 5	They're 誰?	47
back story ①	あるバグス	47
back story ②	狂ったgea	56
of the story?		



# part 1 キャラクリエイト

バラバラで醜い平成を走るゲームはーじまるよー

はい、という訳で今回プレイするゲームはこちら『平成仮面ライダー Another Generation』です！

平成からスタートしたクウガからジオウまでの全作品をプレイできるゲームですね。

このゲームですが、原作追体験のシナリオモードや対戦形式のVSモードなどを遊べますが、今回はオリキャラで自由に遊ぶヒストリーモードをプレイしたいと思います。

でーは、今回は平成ライダー18作品目『仮面ライダーエグゼイド』をプレイします

！

当然ながらRTAなのでゴールを決めておきます。

目標は本編ラスボス、絶版おじさんこと檀正宗の撃破！鉄板ですね！

じゃあキャラクリからはじめましょー

アバターは自由度高すぎるので性別だけ指定してランダム生成で……

できましたね。

短髪黒髪の26歳の青年……紛うことなきモブやん！

まあまあ肝心なのはアビリティだからね。

解説しますとこのゲーム、キャラ作成時にランダムでアビリティを3つ獲得できま  
す。

因みに見たことはありませんが、『バグスター』アビリティでバグスタープレイもでき  
るとか……

ではガチャの時間だオラア！

『ゲーマー』

『ゲーム病抗体』

『下剋上』

お、『下剋上』が出ましたね。

このアビリティがあると存在<sup>レベル</sup>や立場が上の人間、バグスターを相手する時に限りス  
テータスがアップするというアビリティです。

社長である檀正宗に対しては特攻モノのアビリティですな！

『ゲーマー』は書いて字の通りですが、最後の『ゲーム病抗体』はちよつと微妙ですなえ。

攻略本にはゲーム病の抗体としか書いてないですよね。

ゲーム病抗体には複数種類がありまして、どのゲーム病に対する抗体が分からないんですよ。

主人公や檀正宗が持っている『原種ゲーム病抗体』だったらよかったです、恐らく二人専用アビリティだと思います。

ま、『下剋上』あればなんとかなるのでいいでしょう！続行！

じゃあ最後に名前を決めましょう！

3分くらい悩んだ結果、本宮もとみや北斗君になりました。

ホモじゃないですよ？違いますからね？

それではキャラクリを終えたので、エグゼイド本編のOPが始まりました！

おい、辛いので初手道路と傘はやめて…やめて…

お、主人公達が出てきましたね。

何度見ても暗闇の中バイザーを光らせて4人のライダーが並ぶ構図が好きなんですよね。

このOPの構図が最終回で現実になるとは初見の時は思いもしませんでしたよ。

それでは、OPが終わったのでRTA始めていきましよう！  
はい、GAME START！

因みにスタート地点はランダムでキャラのジョブによって左右されます。

医者だったら聖都大学附属医院とかですね。

運が悪ければいきなりバグスターとこんにちわして即リセの危機に立たされます。

このゲームはランダム要素が多すぎるので、状況に応じたアドリブ力が求められます。

ジョブによってはチャートを投げ捨てないので、走者殺しのゲームです。

おっと今回は運がいいのかオフィスっぽい場所からスタート。

机の上にスマホやPCモニターとか置いてありますね。

では早速、我らが主人公の本宮君を操作していきましよう！

〈職業：幻夢コーポレーション社員〉

んーう。これは何とも言い難いジョブですね。



本編キャラに関わりやすい反面、歴代社長3人に目を付けられるとGAMEOVERの可能性が上がります。

イベントでバグスターに襲われたりと時間が取られる部分もありますね。

まあ、社長組やバグスターに目を付けられる事はないと思いますので続けていきましよう！

▽あなたは同僚である《こぼしつくる小星作》と新型ゲームの開発に勤しんだ。

▽…定時だ。

あなたは何処かへ散策をしようと思った。

平日は就いているジョブに対応した仕事でステータスアップを行うことができます。

また、仕事後の夕方には散策を行うことができます。

幻夢コーポレーションはブラック企業らしいですが、残業はないみたいです！

散策は、場所の情報を入手していればその場所へ行けます。

情報がない場合は適当にぶらぶらする事になる訳ですね。

初回は完全にランダムポイントなので気楽にいきましょう。

体力に余裕があるので散策へゴー！

∨あなたはせつかくなのでこの近辺を散策することにした。

……

……

……

「おっと、その兄さん。ちよつといいか?」

あなたがエントランスから出ようとしたタイミングで何者かに声をかけられた。

∨あなたに声をかけたのはアロハシャツを着た青年だった。

何か御用でしょうか?とあなたは青年に質問をした。

「呼び止めて悪いな。兄さんはこの社員か?」

自分、お宅んとこの社長さんに用があるんだが、今はいるか分かるか?」

∨あなたは社長《檀黎斗》だんくりゅうとがまだ退社していないだろうと青年に伝えた。

「……そうか。さんきゅ、親切な兄さん。」

∨そう答えると青年は受付に向かつて去っていった。

∨交流リストに《アロハシャツの青年》が追加された。

……

……

……

やったぜ。(ガッツポ)

まさか、散策初回で彼を引くとは幸運の女神様が憑いてますね。

最後に出た交流リストにキャラが追加されると、今みたいな休憩時間にリスト内のキャラクターと交流できるようになります。

中には終盤や条件を満たさないと追加されないキャラがいますが、アロハシャツの彼《くじょうきりや九条貴利矢》は逆に序盤でないと追加されないキャラになります。

追加されない理由はのちほど…

本編キャラと交流を重ねると一定確率でアビリティを獲得できます。

本編主人公こと宝条永夢ほうじょうえむの場合は『ゲーマー』や『水晶の心』を獲得できます。

水晶って何が由来なんでしょうね。(すつとほけ)

それは置いておいて再開しましょう。

この後に夜行動がありますが、そろそろ動画時間もギリギリなはずなので夜行動だけして本パートを終わります。

といってもまだ交流リストも貴利矢しかないのでできる事は散策兼ランニングぐ

らいですけどね!

軽く流して走ってしまいましたよ。

……

……

……

∨目の前の青年がボタンの付いた手の甲より少し大きいぐらいの機械を掲げる。

「培養。」

インフエクション!

レット's Game! Bad Game!

Dead Game! What's Your Name!?

THE BUSTER!!

∨彼の身体が緑の泡と液体に包まれる。

それが消える頃には、全身が緑で右手が朱色の怪物へと姿を変えた。

「人間、お前には感染してもらおう。」

…

…

…

ウッ アッ アッ アッ アッ アッ アッ アッ アッ アッ アッ  
アイエエエ!? グラフアイト!? グラフアイトナンド!  
!!!!!!

アカンて!! ライダーでもないし人間じゃ勝ち目ないって!!

∨ あなたは突然現れた怪物に困惑する。

感染という言葉に酷く嫌な予感がする。

そら嫌な予感もしますよね!

感染したが最後、永夢達に治療してもらうまで操作不能か消滅というリセ要素の塊です。

リセよりロスです! 逃げます、勇気の逃走です! ホクトオ! ニゲロオー!

∨ あなたははじかれたように後方に駆け出す。

立ち止まってもはいけない。

止まったが最後、取り返しのつかない事になる気がする。

しかし、現実はそう容易くあなたを逃がしてくれなかった。

後ろにいたはずの怪物がいつの間にかあなたの目の前にいた。

あつ（察し）

「さあ、俺達の仲間となってもらおう。」

∨怪物の右手に付いている機械からオレンジ色の粉の様なものを振りかけられる。

……っ!?

急に身体に息苦しさ、倦怠感が襲い掛かってくる。

あまりにも想像を絶する身体の異常に意識を手放してしまう。

クオレハ：リセ案件ですかね。

途中の引きが良かっただけにあまりにも惜しいですね…

∨肌寒さで意識が浮上していく。

あなたが目を覚ましたのは場所は先ほど怪物に襲われた路上だった。時計を見ると30分もたっていない。

先ほど身体を襲っていた異常も今は感じられない。

∨交流リストに《緑の怪物》が追加された。

うん？聖都大学付属病院じゃないですね。

消滅ルートだったらBADENDでエンディングに移ってるはずなので……何が起きたんでしょうか？

交流リストに追加もされてるし、今まで聞いた事がないイベントですね……

うむむ……続行して様子を見てみましょう。

とりあえず、本パートはここまでです。

次パートは翌日の朝からスタートします！

## part 2 PlayerとLiar

ゲームであつてゲームでないRTA始まるよー

はい、それでは前回のグラフィアイトに襲われて何故か無事だったところからですね。いや、ほんと何だったのでしょうか。

軽く裏で調べていますが、それっぽい現象の情報が無いんですね。

やっぱり走者不足からくる情報不足ってハッキリ分かんかね。

もつと皆走つて？走れ（豹変）

さて、日を跨いで朝になりましたが、本宮君の体調にも影響は無さそうです。

昨日に引継ぎ育成を再開しましょう。

今日は休日ので休みみたいですね。

幻夢コーポレーションでも土日休みなのか…

さてさて予定が無い日はトレーニングやランニングなどで肉体を鍛えます。

やはり筋肉は全てを救うんやなつて。

ですが、絶版おじさん攻略にはメインキャラとの交流も必要になります。



よって、トレーニングと散策 or 交流を交互に行って育成します。  
土日のトレーニングでは攻撃力に繋がる筋力と敏捷を鍛えていきましょう。

仮面ライダークロニクルが販売するまでは準備期間なので焦らず準備していきま  
しょう。

では、飛ばせるところは飛ばしていきます！

▽あなたは近辺を散策することにしました。

………

………

………

ゲームシヨップを見つけた！

あなたはゲームシヨップに入ろうとする。

ドンッ！

しかし、その瞬間何者かとぶつかってしまった！

「うわっ、いって…。ああ！すいませんん！大丈夫ですか！怪我はありませんか!?!」

▽あなたとぶつかったのは少し幼さが残る青年だった。

大丈夫、こちらこそよそ見をしていてすまない。

と、青年に謝罪をした。

「いえ、こちらこそ新作ゲームを買って舞い上がっちゃってて：

念のため、僕に診せてもらっていいですか？

こう見えても医者のお卵なんで応急処置ぐらいならできますよ！」

〳〵青年はお世辞にも卵とはいえ医者には見えない。

だが、彼を信じて診てもらおうとあなたは思った。

「ありがとうございます！では、ちよつと触りますね。

…打撲もなさそうだし、大丈夫そうですね！」

〳〵青年は、あなたの身体を一通り触診し、大丈夫と締めくくった。

午後の仕事にも影響はなさそうでよかったと胸を撫でおろし、あなたはお礼の言葉を

伝えた。

「そんな、お礼なんて…ぶつかつた僕が悪いので：

『ピピピッピピッピロリッ』ごめんなさい！僕急用ができたので行きますね！

僕は聖都大学付属病院 小児科研修医の宝生永夢です！何かあったら来てください

ね！

「すみません！それでは！」

∨彼、宝条永夢は少し変な着信音と共に走り去ってしまった。

ゲーム好きな研修医、面白い人だとあなたは思った。

∨《宝条永夢》が交流リストに追加された。

…

…

…

いい流れですね。

貴利矢に続いて永夢と面識ができるとはいいい乱数を引いてるようです。

このまま、翌日の散策をこなしていきましょう。

本宮君は永夢に会いに来たのか聖都大学付属病院に来たみたいですね。

この病院は通常プレイでも嫌ってほどみます。

それもメインキャラが病院に集まっているせいなんですよね。

「あら？！幻夢の社員さんじゃない。」

あら、永夢ではなくアロハシャツを着た胡散臭い人、貴利矢さんがきましたね。

▽あなたはと言いかけて彼の名前を知らない事に気が付いた。

「ん？ああそーいやあ、名乗ってなかったな。

自分は九条貴利矢。監察医つてのやつてる。

自分も名乗った事だし、お宅の名前も聞かせてくれない？」

貴利矢さんが名乗ってくれましたね。

好感度が上がってますねー。

お返しにこちらも名乗り返してあげましょう。

▽あなたは自分の名前を貴利矢に名乗る。

「本宮北斗…ね。

長いから社員さんって呼ばせてもらおうわ。

ついでに連絡先も教えてくれない？」

全く略されてないし、煽ってますよね。これ。

連絡先？そんなの今まで聞かれたことなかったんですけどね。

まあ、教えてあげましょう。

「さんきゅ。後、ちよつと聞きたい事が……」

いや、悪い。急用が入ったようだ。また連絡するわ。」

∨ 貴利矢は弾かれた様に何処かに向かつて走りだしていった。

また連絡するとはどういう事だろうか。

あなたはとりあえず帰宅する事にした。

貴利矢さんは恐らくバグスターとの戦闘にいきましたね。

仮面ライダーの戦いにはまだ乱入できないのでおとなしく帰宅しましょう。

それでは、一度録画を切ります。

次回もよろしくお願ひします。

#####  
#####

ここは聖都大学付属地下にある電腦救急センター、通称CR

CRの待機所ともいえる場所に備え付けられた机と椅子に青年二人と女性が一人座っていた。

僕、宝条永夢は携帯ゲームをしている中で先日あった事、そして忘れていた事を思い出した。

「あーっ!!」

「永夢、突然どうしたの!?!ゲームオーバーになっちゃった?」

声を聞いて驚いた女性、かりのあすな 仮野明日那さんは僕に聞いてくる。

「あ、いえ。」

非番の日にゲームショップに行ったんですけど。

その時にぶつかった人の名前を聞きそびれたなって思い出しちゃって…」

「なーんだ、そんな事なのね。」

「全く、ゲームの事とはくだらないな。ゲームをするより少しでも医療の勉強をしたらどうだ。研修医。」

キーキをメスで切り、食べている青年、かがみひろ 鏡飛彩さんは相変わらず僕の事を名前で呼ばない。

明日那さんはそんな事と言うが、僕にとってはそんな事ではない。

「そんな事じゃないですよ!」

僕にとってゲームは医療と同じぐらい大切なことなんです!」

僕が今ここにいるのも、医者になろうと思ったのも命を救ってくれた日向京太郎先生とゲームのおかげなのだ。

ゲームをやめる事は一生ないだろう。

それに今のCRには明日那さんぐらいしかゲームの話題ができないし、明日那さんは

音ゲー以外のゲームはあまり詳しくない。

単にゲームの話しをできる人が欲しいだけというのものもあるが。

「むーう！じゃあさ！その人はどんな人なのさ！」

「うん、その人は……」

その人は僕より少し年上の男の人だった。

街ですれ違つても記憶に残らないような平凡の塊のような外見、ゲームで言えばモブキャラみたいな人だ。

しかし唯一、彼の目元のクマが印象に残っている。

視力が落ちそうな仕事をしているのだろうか。

今度会う機会があれば聞いてみてもいいかもしれない。

『ピピピッピピピッピロリッ』

どうやらゲーム病患者の緊急通報のようだ。

「飛彩さん、明日那さん！」

「研修医、貴様に言われなくても分かっている。」

「永夢！飛彩！行くよ！」

明日那さんの言葉と共に現場に向かう。



ゲーム病に苦しむ患者を救う事があの日、先生に助けられたこの命の意味だと思っ  
 たら…

#####  
 #####

『幻夢コーポレーション』

5年前に発生したゼロデイ以降増加したバグスターウイルス感染症、通称ゲーム病に  
 対抗する医療機器『ゲームドライバーとライダーガシヤット』を開発した会社。

その社長兼開発者、檀黎斗。

奴がゼロデイを引き起こしたことは間違いない。

しかし、何が奴の目的なのが分からない。

ゲームドライバーとガシャットを売るためか？

それにしては使用できるのは、適合者のみと限定的で更にドライバーの数が限られている。

では何故だ？ 奴は何のためにゼロデイを引き起こした？

そもそも、バグスターとは何なのか。ウイルスはどこから発生したのか。

疑問はいくらでもある。

自分には監察医として、そして3年前に自分の迂闊な告知で失ってしまった親友の為にバグスターウイルスの謎を突き止める。

その為には、奴の作ったシステムを使おうとも構わない。

「私は本宮北斗といます。

ご存知の通りですが、幻夢コーポレーションの社員で開発部で働かせてもらっています。」

そう名乗った男はとにかく普通だった。

黒の短髪、平凡過ぎる顔。

そして恐らくは新製品の開発によるものと思われる目元のクマ以外は。

……

……

…

この男との出会いは1日前、檀黎斗に会いに幻夢に行った時だ。

その時は、一般平社員だと思っていた。

大した意図なく聞いた質問がこの男への興味を引いた。

「社長ですか？先ほど社長室に行った時にいらつしやつたのでまだいらつしやると思いますが。」

『社長室に行った。』

一般企業に勤めた事はないが、基本的に社長室に出入りできるといのは限られた人間のはずだ。

この男は何者だろうか。

こう見えて管理職、役職持ちの立場がある人物だろうか。

疑問は尽きないが、これ以上は待ち合わせ時間に遅れてしまう。  
この会社に通つていればまた会う機会があるだろう。

∴

∴

∴

それがこんなすぐに、まさか翌日に会うとは思わなかった。

こちらから名乗り、向こうも名乗る様に流れを作る。

流れにこの男を乗せてどさくさで連絡先を聞く。

アタリだ、社長室に出入りできる開発部の人間。

奴の秘密、目的を知っている可能性の高い人物、これを逃す手はない。

このまま何処かで話を聞いて∴ってバグスターか。

話を聞くのはまたの機会だな。

自分は本宮北斗に別れを告げ走り出した。

現場に向かう最中、考える。

目下気になっているもう一人の人物、仮面ライダーエグゼイド『宝生永夢』  
何故、適合者についていない奴が仮面ライダーに変身できるのか。  
あいつについても調べなければならない。

#####  
#####

## part 3 白と黄のXmas

命はおもちゃじゃないRTAはーじまるよー

えっそれは別作品だって？

失敬失敬。

それでは続き始めていきます。

前回は貴利矢さんと永夢と連絡先交換した所でしたね。

二人と接点はできたので今までと変わらずお仕事と散策していきましょう。

ではでは、今日も勤労頑張っていきますか！

……おつ作さん、今日は『ジュージューバーガー』のデータを作るんですね。

バーガー○ーガーで鍛えた店舗経営の腕前見せてやりますよお！

えっ？ハンバーガー店を展開するゲームではなくハンバーガーを作ってバガモンに喜んで貰うゲーム？

つまり私が作ったデータは要らない？

（・・・）そんなー

定時なので今日の仕事おわり！

散策の時間ですよ、オラア！

ん？散策前にイベントが挟まりましたね。

何々：原因不明の熱病が広まっている様です。

ふーん（興味無し）

冗談はさておき、これは本編9話ぐらいのグラフィティイベントです。

永夢の恩人、日向京太郎がグラフィティに感染する話です。

このイベントは日向京太郎にストレスを与える為、グラフィティが一般人に大量感染を図ってウイルスをばら撒いているんですね。

本編の永夢達は患者対応による忙しさと本人達の個人的事情もあつてとてもギスギスしてます。

まあ！本宮君は一般人なのでゲーム医療には関係ありませんがね！

今日は好感度稼ぎに永夢に会いに行きましょう。

このタイミングでは、京太郎先生の件でちよつと暴走仕掛けています。

ですが、会話により落ち着かせる事により、グラフアイトとの初回バトルでレベル5  
ガシャット『ドラゴナイトハンターZ』を制御できます。

これにより、制御できない事で発生する2回目のバトルを省略できる訳ですね。  
では、永夢と交流しにレッツゴー！

……

……

…

∨あなたは街中で思い詰めた宝生永夢を見かけ、追いかけていたはずだ。  
いつの間にか、あるビルの屋上に向かった彼を追い抜いてしまったらしい。  
あなたの目の前には、忘れたくても忘れることのできない青年が立っていた。

「まさか一番乗りがああの時の人間、お前だとはな。

あの時、オレに感染したはずだが何故発症しない？」

∨あの夜、緑の怪物だった青年はあなたに問いかける。



…

…

…

なんでえ??

おかしいですねえ。

宝生永夢に会いにきたはずなのになんでグラフィイトに出くわしてるんですかねえ

…

このゲーム突発リセ案件多過ぎやしませんか？

まあ、何か聞いてきてますが発症しない理由はこちらも知りたいので適当に答えてお  
きましよう。

お、僕らの主人公の宝生永夢先生が来ましたね！

こちらを気にしてすぐエグゼイドに変身してゲームエリアにグラフィイトと行って  
くれます。

これでとりあえずは本編通りに進みます。

本宮君はゲームエリアに入れてないので、二人が居なくなつた屋上から降りましよう。

交流にも乱入つてあるんですね…

今回の件は攻略サイトにも報告しておきましょう。

では、気を取り直して次以降のサイクルもこなしていきますよー！

この後しばらくは一部を除いて誰とも会えないので、仕事の後はトレーニングをします。

間違つても緑の怪物もとい黒の龍剣士にまた会いたくないので、ランニングはやめます。

ちよつとまず味ですが家庭用ゲームでトレーニングをします。

磯野くリング○○○アドベンチャーしようぜ

えつ無い？じゃあ、剣神ドラ○ンク○ストでいいよ。

このトレーニング期間で格闘ゲームのネット対戦を何度かこなしておきます。

今回は東○非想○則にします。

私の空が火を吹くから見てろよ見てろよー

それでは、動きがあるまで倍速で。

.....

お待たせしました。

画面に動きがありましたね。

いい感じに天○でレートを稼いでいた本宮君にNを名乗るプレイヤーから対戦申し込みがきましたね。

このNは本編に出てくる西馬さいばニコニコです。

本編ではサブライダーである花家大我はなやたいがのパートナー的な存在です。

のちの重要キャラですが、この時期ではまだ花家大我の診療所に身を寄せてない頃です  
すね。

ニコちゃんは天才ゲーマーNと名乗っているだけあつて腕前は高いです。本宮君は『ゲーマー』を持ってますがそれでも太刀打ちできないので粘って負けましょう。

粘って負ける事で、ニコちゃんとの交流フラグが立ちます。

∨ あなたの携帯から着信音がなる。

先日、連絡先を交換した貴利矢からだ！

あら、貴利矢さんからメールが来てますね。

ふむふむ、今から会って聞きたい事があるとのこと。

ええやん！好感度稼げるやん！

それでは、イクゾー！

∨ あなたはクリスマスに特に予定が無いため、貴利矢と会う事にした。

えつちよつと待ってクリスマスって…

……

……

…

目の前ではとても現実とは思えない光景が繰り広げられていた。

ついこの間の事、宝生永夢が変身した『紫と緑の戦士』に酷似した『白と黒の戦士』と『黄色と黒の鎧武者のような戦士』がまるでゲームのように戦っていた。

あなたがよく見ると、彼ら？にはゲームらしい意匠があった。

白の戦士には腰のベルトにAとBのボタンが、黄色の鎧武者には両肩と右胸に今は懐かしい4つのボタンが見える。

あなたが彼ら？ 見ている間にもコロコロと状況が変わる。

白の戦士が武器を奪い取り、攻撃を加え：腰のボタンを同時押しする。  
やけにコミカルな音が鳴り響き：更にAボタンを押す。

Critical End

何処からか声が響くと白の戦士は宙へと飛び上がり、縦に回転。

まるで身体全体で大きな鎌になったように黄色の鎧武者に襲い掛かる。

黄色の鎧武者は最後まで抵抗するが、攻撃が直撃し弾き飛ばされた。

黄色の鎧武者は地面を転がり、本来の姿『九条貴利矢』に戻った。

九条貴利矢は白の戦士にしがみつくも振り払われ、地に伏せる。

そんな時、宝生永夢と彼に似た戦士が二人と女性が現れ、人間に戻り貴利矢に駆け寄り白の戦士は姿を消した。

永夢達が駆け寄るが貴利矢の身体にノイズが走る。

## GAME OVER

まるでデータに亀裂が走ったように身体のノイズが回り、貴利矢は粒子になって消えてしまう。

あなたの前で人が消えた…死んだ事実を理解したくないのかあなたはこの場から走り去る。

あなたが現場から走り去る後ろで友を失った誰かの悲痛な叫び声が聞こえた。

…

⋮

⋮

∨ 交流リストから《九条貴利矢》が削除された。  
『トラウマ：消滅』を獲得した。

## part 4 EventとBugster

データも一つの命なRTAはーじまるよー

アッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッアッ  
!!!!!! (発狂)

……ふう、落ち着きました。

前回はそうですね…

走者の超ガバで見なくてもいいイベント見た上に要らないアビリティ獲得しましたね。

前回のイベント、通称『クリスマス貴利矢消滅イベ』ですが、

秘密を嗅ぎまわりすぎた貴利矢さんが檀黎斗により消されてしまうというイベントです。

part 4で貴利矢さんの交流リスト追加タイミングについて話しましたが、

このイベント前までに交流リストに追加しないと、終盤まで追加できません。

因みに貴利矢さんは実は生きてるとかではなく本当に消滅しているため、このイベント後は終盤まで出番は一切ありません。



消滅したのになんで終盤に出番があるの？と思った兄貴姉貴は本編を見てください。早く見て。

次に獲得したアビリティ『トラウマ：消滅』です。

いかにもなアビリティ名ですが、デメリット9割メリット1割なアビリティです。

このトラウマ持ちのキャラの前で人が消滅すると、ランダムで自身にバフデバフがかかります。

バフかかるならええやんと思いますが、デバフ率が高く種類も豊富で重複し、最悪操作不能になるのでアビリティとしては基本要らない子になります。

多分ですがキャラ設定用のアビリティじゃないかなと思っています。

本来ならデメリットアビリティ獲得とイベントによるロスで即リセなんです…

今後の戦闘で『トラウマ』でバフがかかり続ければキャラなんで続行します。

▽朝だ。

あなたは昨日目撃した人が消滅したという光景が頭をよぎり、胃の中からひっくり返りそうになる。

あーやっぱり、『トラウマ』の影響酷いですね…

まあ、仕事は待ってくれないので出勤しましょう。

～あなたが出勤前にテレビのニュースを見ると職場、幻夢コーポレーションが映っている。

なんと、檀黎斗社長が失踪したらしい。

そういえば、檀黎斗の失踪もこの辺りでしたね。

彼は仮面ライダークロニクルの開発をするため、雲隠れしました。

～幻夢コーポレーションの前にはカメラを持った記者と報道陣がひしめき合っている。

流石にカメラに囲まれたくない。

あなたは今日は仕事を休むことにした。

当日欠勤有りってどんな会社やねん！

って冗談はおいで社長が失踪した訳ですし、まあ普通は仕事どころではないですよ。ね。

休みになったという事でトレーニングしましょう。

～あなたの携帯に九条貴利矢から連絡がきた。

どうやら、九条貴利矢の同僚らしいが無断欠勤しており、携帯が置きっぱなしになっていたため、登録されている番号に手当たり次第にかけているらしい。

貴利矢さんの同僚さんからの連絡みたいですね。

これですが、連絡を受けた後にこちらも探している風に同僚さんに会いに行くと貴利矢さんのパソコン等を見せてくれます。

コンプライアンス的にどうなのと思わなくてもないですが、貴利矢さんのパソコンを見ることで重要な情報が手に入ります。

タイム短縮になるので同僚さんの所に行きますよー！

はいっ、到着しました。

あ、どうも九条貴利矢の友人です。（大嘘）

貴利矢さん、本当にどこ行つたんですかねー

こちらも探しててー何か手がかりとか無いですかー？

なんと！私物を見せて貰えるんですか？

いやーすいません！

確認したらまたお伺いするので：はい、ありがとうございます。

とまあこんな感じでパソコンを見ましょう。

ご丁寧にごデスクトップに色々保存してありますね。

パソコンにロックかけずにデスクトップに大事なものを保存しちゃダメですよー

『宝生永夢とバグスターウイルス』『リプログラミング』の論文がありましたね。

これに目を通しつつ、USBにコピーします。

このタイミングで始めてエグゼイドやブレイブなどの仮面ライダーの単語や関係者を知る訳ですね。

これで今後、ゲーム医療現場に居合わせたら適正用語を使用して分かっている風を装えます。

適正用語使用ヨシ！（現○猫感）

あれ？なんで本宮君の名前が書いてあるん？

本宮君関係者じゃないんですけどね。

まあ、ええか。

お目当ての情報は手に入れたのでさっさと帰りましょう。

お邪魔しましたー！

さて、帰宅したらUSBにコピーした論文達を『仮面ライダーブレイド』鏡飛彩と『仮面ライダースナイプ』花家大我に送ります。

本編では『リプログラムリング』の資料について飛彩が見つけて大我と協力してガシャットを作りますが、事前に送りつけておく事で本編換算だと数話分短縮されます。後は自粛自宅謹慎してP S 2でアイオーイをプレイしてトレーニングしてましよう。

はい、皆さん（マスコミ）が静かになるのに数日かかりました。（教師感）  
久しぶりに出勤しましょう。

本編側では永夢がお前が俺での一人超協力プレイをできるようになってたりしますが、本宮君サイドはあくまでもお仕事です。

まあ、そろそろあのバグスターが誕生している頃ですが…

～あなたが数日振りに開発室に入ると頭がハンバーガーの怪物が居た。

つと、生まれてましたね。

本宮君と小星作が作っていたゲーム『ジュージューバーガー』のバグスター、バガモンです。

バグスターですが、敵性キャラじゃない上非交戦的なキャラの為にプレイヤーからはマスコットみたいな扱いです。

彼はもう少ししたら檀黎斗に不正なゲームとして削除されてしまいますが、倒す事以外でもゲーム病が治療できると教えてくれる重要なキャラです。

因みに人間に友好的なバグスターの為に、バガモンに感染して抗体を作れば永夢と同じように仮面ライダーになる事もできます。

バガモン相棒ルートだとC Rの協力者として戦えるとか何とか。

気になる方は是非走ってください。(勧誘)

削除される彼ですが生まれた事に罪はないのでロスにならない程度に可愛がりましょう。

ほーら、新しいバーガー○ーガーのデータだよー

え、やっぱりダメですか：そうですね：

そろそろ、黎斗にも会っておきたいんですねー

ですが、社長室から黎斗の機材を拝借して『ジュージューバーガー』のガシャットを

作ります。

どんどん本編加速していきますよー

……はい、完成です！

完成したら、バガモンがハンバーガーを食べたいというので作さんに買い出しに行つてもらいましょう。

この買い出しで作さんはバガモンがCRに見つかり治療室に缶詰めになります。

この間に『ジュージューバーガー』のバックアップを取っておきます。

大切なデータは、ちゃんと保存はしておかないとね！

しばらくしたら作さんがCRに入院したと連絡が来ますが、病院関係者ではないのでCRに入れません。

大人しく帰宅しましょう。

翌日になるとハンバーガーの怪物が暴れているとSNSで流れるので現場に向かいましょう。

・  
・  
・

あつバガモンが家族連れや子供達を襲っていますね。

これは感染者の作さんに乗っ取ってしまわないよう、悪役のフリをして倒されようとしています。

自分の身を犠牲にして人を救おうとするとか優しい子やな…

守らねば（覚悟）

しかし、悲しい事にバガモンが居なくなる事が作さんのストレスなんですよね…

スナイプのように攻撃してしまうと作さんが最悪消滅してしまいます。

ですが、ここは攻略法を見つけた永夢に任せておけば、勝手にゲームクリアしてくれます。

言っているうちにクリアしましたね。

流石永夢先生やでえ…

…あれれえ？おかしいぞ？

さつきまで広場にいた筈なのに、色々な場面で使いまわされてそんな廃工場にいる





バグスターの消滅でも『トラウマ』は適応されるんですけど……  
デバフ重ね掛け状態で今にも吐きそうな顔色ですが……  
気絶してしまいましたね。

それでは、今回はここまでです。

次回もよろしくお願いします。

## back story① あるバグスター達の記憶

オイラはバガモン！

『ジュージューバーガー』のバグスターだガ！

オイラは気がついたら変な部屋居ただガ。

目の前には人間がいたんガ、オイラを見ると最初は怖がって居たんガ…

「バガモン？ お前もしかしてバガモンなのか!?!ぐっ！」

オイラの名前を呼んだと思ったら人間は突然苦しみだしたんガ。

つい、人間を心配してしまったガ。

「やっぱり、お前は良い奴だなあ…」

これが『ジュージューバーガー』の産みの親兼オイラの感染者、小星ツクルとの出会いだガ。

オイラが登場する『ジュージューバーガー』にもう一人、産みの親がいるんガ。

ツクル曰く今会社？が大変だから休んでいるらしいんガ。

「小星さん。おはようございま…す…す？」

来たんガ!

この人間が本宮北斗、もう1人の産みの親だガ!

北斗はツクルの友達でプログラムを作ってるんだガ!

でも、『ジュージューバーガー』はオイラのお題に合わせてハンバーガーをツクルるゲームなのに店舗経営?とデータは要らないんガ:

「もしかして、バガモン?」

「そうだガ! オイラ、バガモンだか!」

「ええ!? バガモンはバグスターだったの!?

いや、バグスターがバガモンなのか...?

何でもいいや! 今度こそこの『バー〇〇バーガー』を入れさせてくれ!」

「それはダメだガ! (よ!~)」

ツクルとハモっちゃったんガ。

やっぱり北斗は変な奴なんだガ...!

「バグスターは人類の敵だ!!」

!!!!

白衣を着た目の前の人間が周りの人間に言ったんガ。

確かにオイラの感染者はツクルで、オイラが消滅しないとツクルは……

このまま、ツクルと北斗と一緒に居たかったけど、ツクルが消えるのはもつと嫌だガ

!

誰かを襲ったらオイラを倒してくれるガ!

……居なくなつて心配かけたら嫌だからピクルスを置いていくガ。

今からオイラは悪のバガモン。

残酷なケチャップが、血が流れるんガ!

.

「お待たせしました!ご注文の特製ジュージュバーガーです!召し上がれ!」

エグゼイドがオイラとゲームをしてハンバーガーを作ってくれたんガ。

とつても、とーつても美味しかったんガ。

そして、ツクルの病気も治つてこれでツクル達とずっと一緒に居られるんガね!

「キメワザ！」  
Pパーerフエfectクト Cクリritiテイcalカル Cコombボンo!  
AオーLLル Cクリlear!  
ボ!

青い奴がエグゼイドとスナイプを1vs2で圧倒して、オイラに近づく白い奴。  
でも、北斗がオイラを庇うように割り込んできたガ。  
北斗の身体が小刻みに震えてるのを見てオイラは…

Cクリritiテイcalカル Dデッead!  
ド!

ツ!!

白い奴がいる周りの地面から黒い影が現れ、オイラ達に向かってくる。  
まずいガ!!

「二人とも下がるガ！」

オイラは咄嗟に目の前を北斗を後ろに引いて2人の前に立つ。

この影共め！2人には絶対に近づけないガ！！

必死に抵抗しても影達はオイラに群がり・・・爆発する。

2人は無事みたいで良かった・・・ガ。

オイラはもうダメそうだが・・・でも、2人に伝えなきゃいけないガ！

「ツクル！これから夢いっぱいゲームを作るガ！」

「北斗！あのデータは正直別のゲームで使って欲しいガ！」

「・・・でも、次は入れさせてあげてもいいガ。」

「2人ともオイラを生んでくれてありがとうだガ。」

オイラの身体が消えていくガ。

もつともつと遊びたかったガ、『ジュージューバーガー』とそのバグスター『バガモン』を生んでくれたのお礼は親に伝えることができたので良かったとするガ・・・。

ゲームの中にオイラは居ないガ、みんなで一緒に遊んでくれたらオイラ・・・嬉しい・・・ガ。

#####  
#####

「目的はガシヤットの回収だったはずだ、バグスターを消す必要があつたのか。」

俺は目の前で端末を操作している男、ゲンムに聞く。

ゲンム以外の人間が作ったガシヤット『ジュージューバーガー』から生まれたバグスター、バガモン。

あいつは生まれた経緯は違つても俺達と同じバグスターだ。

元々の目的はガシヤットの回収だった以上、バガモンを消す意味はない。

「ゲームマスターの私に許可なく勝手にゲームを生み出すことは許されないのだよ。」

質問の答えになっていない。



恐らく、『ジュージューパーガー』の存在が許せないという事だろうか。

「だったら、そのガシヤットのデータも削除しろよ。」

「これは元々私が考案したゲームだ、ガシヤットの権利は私にある。だが、ガシヤットとバグスターと一緒にするな。」

「……………」

「全てのガシヤットに意味はあり、全てのバグスターのデータが集まる事で、私の仮面ライダークロニクルが完成するのさあ!!」

ゲムムの言っている意味が分からない。

ガシヤットだけが必要であのバグスターは、バガモンは不要と言っているように聞こえる。

ゲムムは俺達をただのデータの塊のように思っているんじゃないか。  
俺達は確かにデータの塊だが、ここに存在しているし生きています。

「俺達バグスターを何だと思っている。」

「君達バグスターは、私の計画を遂行する駒に過ぎないのだよ。」

「駒……だと?」

「ほら、早く宝条永夢の元へ行くといい。『宝条永夢は俺が倒す』んだろう? もたもたしているとならば彼のガシヤットを回収する。」

「ツチ。」

俺の永夢の手を出されては困るため、心が滾るままに外に出る。

永夢は俺の遊び相手だ。

ゲームに遊び相手を取られる訳にはいかない。

俺は他の人間に興味はないが、一人だけ気になりはじめた人間がいる。

バガモンの感染者と一緒にいた人間、俺には永夢やCRの人間以外は、ほぼ一緒にかねないがそれに輪をかけるようなモブキャラな外見。

バグスターという存在は人間の敵だ。

ゲームで主人公に倒される敵キャラとして、程度の違いがあるが生まれた時からそう作られて<sup>プログラムされている</sup>いる。

そんな人間の敵をあつちのモブは庇つたのだ。

あの場では永夢達と戦っていた俺とゲームは間違いない敵に見えたはずだ。

なのに人間の敵をゲムムから庇った。

何をどう思ったらその行動になるのか。

奴の事を考えると、永夢の事を考えた時の感覚よりも違う不思議な感覚を覚える。  
不思議と言葉が出た。

「心が弾むな。」

#####  
#####

## part 5 They're 誰？

人とバグスターは変わらない命なRTAはーじまるよー♪

前はバガモンイベントが終わったところでしたね。

気を取り直して、続きを始めていきましょう。

近い期間に2回も消滅を見てしまったので、本宮君のストレスはマッハです。

そして走者のストレスもマッハです。(憤怒)

『トラウマ』のデバフは長期間継続しないので、今後の行動に問題はさほど出ません。

ね。おっと、前回バガモン消滅で気絶した影響か聖都大学付属病院のベッドから再開です。

ただの気絶ですが、念の為検査をする様です。

微妙なロスですがこの程度は仕方ないです。

病院関係者と交流できるのでプラスと考えましょう。

一応、会社にかくかくしかじかで検査するので休みまーすと連絡しておきます。

ハウ・レン・ソウは大事、特にこの頃に来る新社長には目を付けられたくないの  
切ですね。(ピコンツ！)

このゲーム、クリエイターの性癖なのか一部の描写だけやたらと描写が細かい部分  
があります。

今で言うところには何かあの頭の上でクルクル回るドーナツ状の奴(知らない)とか胃カメ  
ラを入れた時の不快感と嘔吐感とか……伝わってくるのでとても気持ち悪いです。

ひとまずは検査周りはほぼ終わり、最後のゲーム病診断です。

診察機を軽く当てるだけでいいってこの世界の技術の進歩凄いですなあー  
世界というより黎斗の技術が凄いです。

RTAにはあまり関係してきませんが、エグゼイド本編がこの辺りから物語が加速し  
始めます。

宝生永夢の謎が少し判明したり、お互いスタンドプレーだったライダー達が徐々に協  
力プレイを始めたりですね。

初期のツンツンだった飛彩さんが、永夢に対して過剰なほど心配性になるのは関係性  
の変化を感じます。

因みに一時期ブームになった『宝生永夢ウ！』はこの時期にあります。

『ブーン!』といい檀黎斗はネタには欠かせないですね。

### 閑話休題

さて、ものの数秒で終わる診察ですが永夢と仮野明日那さんの交流タイムでもありません。

無言にならないよう色々話しましょう。

仮野明日那ことポッピーピポパポもいるので、バガモンの事を交えつつ良性バグスターに好意的な反応を見せればグッドです。

そろそろ、宝生永夢ウ!な時期なので永夢の状態は会う度確認しておきましょう。

天才ゲーマーMになっていたら、宝生永夢ウ!後です。

今は普通の永夢っぽいので恐らくまだですね。

∨交流リストに《仮野明日那》が追加された。

・ ・ ・

おっと、来客ですね。

アツ新社長：

彼は天ヶ崎恋、黎斗失踪後の幻夢コーポレーション社長です。

座右の銘は「世界中に I LOVE YOU」。

ねっとりな話し方と見た目も相まって、とても胡散臭いキャラです。

そんな胡散臭い匂いバリバリな彼ですが、正体は『ときめきクライシス』のバグスター、ラブリカです。

仮面ライダークロニクル屈指のクソボスです。

何がクソかと言いますと、アクションゲームに恋愛シミュレーションの好感度要素を導入してくるからです。

一番厄介なのが彼の能力、『物理攻撃に対する無効化能力』です。

簡単に説明すると、彼が連れているラブリーガールズというバグスターに対して好感度を稼がないといけません。

基本的にこちらの攻撃はミスになり、ラブリカ側はこの仕様は無視＋好感度が低い程に攻撃の威力が上がります。

一応抜け道はありますが：バランス調整した奴出てこい。

まあ、今はまだ正体を現してないのでスルーでいきましょう。

ほうほう、もうすぐ社運をかけた新作ゲームが発売されると。

そのゲームで運営側のプレイヤーをして欲しいという事ですか。

これは極秘プロジェクトだから他言無用と。

はい、社長が決めたのであれば引き受けますー（社畜感）

あ、はい。宜しくお願いしますー

∨ 交流リストに《天ヶ崎恋》が追加された。

・ ・ ・

遂に来ましたね。

言うまでもなくこの新作ゲームは『仮面ライダークロニクル』です。

一般人プレイだとこのゲーム発売までは、CRが持っているゲーマドライバーとゲーム病抗体がないと変身できません。



それにしても発売はもう少し先だったはずなのですが…

運営側のプレイヤーというのも幻夢コーポレーションに勤めている特権ですかね？

まあ、進めていきましよう。

ようやく長い準備期間が終わりそうですね。

といつても準備できる事はそう多くありません。

引き続き身体とゲームの腕を鍛えていきましよう。

………

……

…

「なあ、お前。俺と遊ばないか？」

∨ 商店街であなたを呼び止めたのは、黒い服を着た青年だった。

あなたは一目見て、先日のバガモン消滅の要因を作った1人『青い仮面ライダー』だと気づいてしまう。

∨ 何のようでしょうか。

あなたは青年に対して冷たい言い方になってしまおう。

なにせ、子供ともいえる存在を奪ったのだ。

冷たく当たるぐらいは許してほしい。

「なんだよ、冷たいじゃないか。」

∨あなたは青年を無視して帰ろうとする。

「まあ、待てよ！俺はただ遊びたいだけなんだ。ルールはお前に任せる。な？いいだろ？」

∨あなたはこの子供っぽい青年に仕方なく付き合っただけな事にした。

ルールは…近くのゲームセンターで格闘ゲームにする事にした。

「格闘ゲームは俺の得意分野だ。いいぜ！心が躍るなあ！」

∨ 9 戦目。

今の所、戦績は1勝7敗だ。

得意分野というだけあり、初戦の操作が慣れてない内の“分からん殺し”で1勝を取った時以外はストレート負けになっている。

あなたが操作している金髪長身キャラが、青年の銀髪病人キャラに飛んだり跳ねたりさせられている。

彼がミスをしない限りは、このラウンドは青年の勝ちにほぼ決まりである。

あなたはこれでもゲームをやりこんでいるため、このまま負けるのではなくせめて一死報いたいと思った。

「なあ、一つ聞いていいか？」

∨ 青年が何か聞いてくる。

試合中で余り余裕はないが、あなたは無言で続きを促した。

「あのバグスター、いやバガモンはお前達にとつて何だったんだ？」

▽……加害者が被害者に聞くことではない。

あなたは精一杯の皮肉を込めて、バガモンは家族だったと答えた。

「……。そうか。」

▽その後、青年と会話はなくなった。

ゲーム画面では、青年のキャラが胡坐をかいて座り込み両腕からビームを出した。

あなたと青年のゲーム対戦の行方は1勝9敗となった。

「ゲーム、楽しかったぜ。また遊んでくれよな。」

▽こちらはもう遊びたくないと伝え、あなたはこの場から去る。

「俺の名は。パラド！仮面ライダー。パラドクスだ！」

～あなたは青年、パラドの名前を聞き今度こそこの場から立ち去った。

立ち去る直前、カサツと音がした気がするが気のせいだろう。

～交流リストに《パラド》が追加された。

…

…

…

あ、ガバじゃないですよ？（先行入力）

今のはパラドとの交流イベントです。

いきなり見知らぬ青年にゲームしようぜ！って誘われてお互いに自己紹介をするイベントですね。

今回はバガモンの一件があつたからか、会話内容も少し違いましたね。

このゲームこういう細かい会話の変化が凄いです。

バガモンの事は本編後半で、永夢先生がハイパー無慈悲してくれるのでそれでキャラにしてやりましょう。

で、最後の物音ですね。

何かのフラグですかね……あつ、黎斗のアジトのメモがありました！  
パラドの好感度を序盤で上げるとこんなメリツトがあつたんですね。

これは攻略サイトに報告しておきましょう。

それでこのメモですが、衛生省に通報できるアイテムになります。

本編通りに衛生省のガサ入れが入り、『ブウン！』イベントが起きます。

まあ、このタイミングだと『宝生永夢ウ！』もまだなので

少しイベントの入りが早くなるくらいですので微روسを帳消しにする程度の意味しかありません。

ですが、バガモンの件もあるので衛生省に通報してやります。

お前ぜってえ許さねえからな……！

それでは、この辺りで録画を一旦切ります。

次回もよろしくお願いします。

back story② 狂った gear of th  
e story?

「一気に行くぞ!」

「ああ!」

ゲームドライバーのアクチュエーションレバーを閉じる。

ガツチョーン!

いつものシステム音と共に僕達二人の片足にガシヤットのエネルギーが集まる。

「キメワザ!」

そしてまたレバーを開く。

ガツチョーン!

マ  
M I G H T Y    D O U B L E    C R I T I C A L    S T R I K E !  
イ    テイ    タ    ブ    ル    ク    リ    テイ    カ    ル    ス    ト    ラ    イ    ク

僕達二人は一緒にチャーリーバグスターまで飛ぶ。

チャーリーを挟んで反対側に接近した俺と連携して、空中で足技の乱舞を繰り出す。

僕達は、チャーリーの身体を踏み台にして高く跳躍し、トドメの同時キックをお見舞いする。

必殺技を受けたチャーリーは激しく後退し爆発する。

「やったー！」

後ろでポツピーの声が聞こえる。

GAME CLEAR!

これで黎斗さんのゲーム病は完治した。

黎斗さんにはいまままでの事を償ってもらうことができる。

その時だ。



黎斗さんがバグヴァイザーを取り出し、チャリーを回収したのだ。

「本当に助かったよ、宝条永夢ウ．．．」

黎斗さんが急に笑い出す。

「フフフフ、君ほどだましややすい人間はいない．．」

「どういう意味ですか？」

「私がゲーム病にかかったのも、全て計画の内。

フツツ、私のアジトが衛生省に嗅ぎつけられてしまったからなア！」

時間稼ぎに利用させてもらった。」

時間稼ぎ？

まさかC Rを利用したのか!?

そう思った時、黎斗さんがC Rで話した話が蘇る。

黎斗さんがとある人物の才能に嫉妬し、バグスターウイルス入りの物を送り付けた事。

その人物の体内で成長するのを待つてウイルスを抽出した事。

そのウイルス、『原種バグスターウイルス』が今のバグスターウイルスの元になってい  
る事。

そして、処置室で涙ながらに僕達に謝り、今までの事を償うと言った事。

「さっきの涙は全て嘘だったのか!!」

「16年前から君は、透き通るように純粹だった…。

その水晶の輝きがア！私の才能を刺激してくれたア・・・！

君は最高のモルモットだア！

君の人生は全て、私のつ、この手の上でっ転がされているんだよオ!!」

ダアーーーーーハハハハハアツハハハハ!!」

高笑いを続ける黎斗さんが話す言葉にいくつも気になる点があった。

16年前？僕がモルモット？何を言っているんだ!?

「ブウンー！」

ガツチョーン！

DデAンNジャGラEスRスOスUスS  
ZゾOンMンBビIビE!

「変ウ身ウ！」

ガツシヤツト!

バグルアツプ!

DデAンNジャGラEスRスOスUスS  
ZゾOンMンBビIビE!

「ヴヴウア！レベルXの力思い知れ！」

黎斗さんがこれまで以上に禍々しいオーラを纏ったゲンムに変身し僕達に襲い掛かってくる。

僕達是对抗するが、膝蹴りで蹴り飛ばされてしまう。

Cクrリiテイtカiルcルaルl  
Dデeッaドd!

システム音と共に足元に黒い水溜まりが広がり、大量のゲンムが出てくる。

「っゲンムがこんなに!?これは一体!？」

「ゾンビといえば、増殖能力が付き物だろう?」

大量のゲムムに絡みつかれ、僕の変身が強制解除される。

僕の腰に付いていたゲーマドライバーが黒ずんでいき、煙を出しながら腰から落ち身体から力が抜け膝から崩れ落ちる。

「君のゲーマドライバーを腐敗させた。これで君はエグゼイドに変身できない!

ククク、君の水晶を砕くのは他でもない。

この私だ!!」

ゆっくりとこちらに向かい歩いてくる黎斗さんの姿が見え、目と鼻の先まで来ると僕の目を覗き込んでくる。

「待てよ、ゲムム。永夢を倒すのは俺だって言ったはずだ。」

その声に振り向くと幾度と戦ったバグスターの青年、パラドがいた。

「パラド、これは罰だ。」

衛生省に私のアジトを密告した君へのなア！」

「なんの事だ？」

黎斗さんの言葉に何の事か分からないような顔をするパラド。

パラドが衛生省に黎斗さんの居場所を密告したなんて：

「宝条永夢を倒すのは俺だと君は言ったア。」

彼のゲーマドライバーは腐敗させ、宝条永夢はもう変身できない。

私に歯向かった罰だ。

その望みを絶つウ・・・

宝条永夢ウ!!

何故君が適合手術を受けずに、エグゼイドに変身出来たのか。

何故ガシヤットを生み出したのか。

何故変身後に頭が痛むのかア！

その答えはただ一つウ：ハアア：

宝条永夢ウ!!

君が、世界で初めて！バグスターウイルスに！感染した男だからだアーっ！  
ヴァーハハハハ!!」

……

黎斗さんの笑い声が遠くに聞こえる。

今あの人と言った言葉が、あの時言った言葉が、一つ一つ僕に染み渡っていく。  
全ての情報が心の奥底で考えていた『もしかして』に繋がっていく。

「僕が……ゲーム病……？嘘だ……。僕をだまそうとしてる……。ぐっがつ……。頭が……」

僕の頭の中で色々な事が溢れ出るように思い出される。

変身後に酷い頭痛に襲われた事、マイティブラザーズのガシャットを生み出した事。

ドクンツッ！

心臓が大きな鼓動を打ち、身体から何かが飛び出そうになる感覚を覚える。

心臓の鼓動が段々大きくなっていき、僕は自分の身体の異変を見てしまった。身体中にノイズがはしり、指先から粒子になっていく。

「うわああーっ!!」

「永夢……!」

遠くからパラドがこちらに走ってくるのを最後に僕の意識はブラックアウトした。

・ ・ ・

See you  
Next game